

Q & A

ここでは、主に高温セット処理した乾燥材に関して寄せられる疑問・質問について、本プロジェクトで得られた成果をもとに回答案を示しました。参考にしてください。

○高温セット処理を用いた乾燥法について

- Q.01** なぜ材面割れを抑えられるの？ 54
- Q.02** 内部割れが生じてしまうのはどんな時？ 55
- Q.03** 高温セット処理時の乾球温度は120°Cでなければならないの？ 56
- Q.04** 内部割れは含水率が何%になると発生するの？ 57
- Q.05** 材面割れや内部割れの発生量は樹種によって違うの？ 58
- Q.06** 適切に乾燥しても木口付近には割れが多く発生します。
この割れを防ぐ方法は無いの？ 59
- Q.07** 材色変化を防ぐ方法はあるの？ 60

○他の乾燥法との組み合わせ

- Q.08** 高温セット処理後、天然乾燥した場合、どれくらいの乾燥時間が必要なの？ 61
- Q.09** 葉枯らし材や屋外で長く放置した未乾燥材に高温セット処理を用いた乾燥法を適用すると材面割れがたくさん発生するのはなぜ？ 62

○高温セット処理を用いた乾燥法で生産した乾燥材の品質管理

- Q.10** 乾燥することによってどれくらい収縮するの？ 63
- Q.11** 高周波式含水率計で水分管理する際の注意点は？ 64

○その他の乾燥法

- Q.12** 自然エネルギーを活用した乾燥方法はあるの？ 65

○割れと強度性能との関係

- Q.13** 内部割れと強度の関係は？ 66
- Q.14** 材面割れや背割りは製材の強度性能に影響を及ぼすの？ 67
- Q.15** 材面割れや背割りは接合部の性能に影響を及ぼすの？ 68
- Q.16** 内部割れは接合部の性能に影響を及ぼすの？ 69
- Q.17** 高温セット処理を用いた乾燥法をスギ材に適用した場合、強度性能に及ぼす影響について、品種の違いによる差はあるの？ 70
- Q.18** 心去り材を高温セット処理を用いて乾燥した場合、どうなるの？ 71